



SCHOOL OF MEDICINE
INDIANA UNIVERSITY

MindManagerで共同研究を管理、学術論文を執筆する インディアナ大学医学部の癌研究者



「コンピュータ上のファイルを掘り起こすことなく、まるでひとつの制御パネルに、必要なすべてを表示できます。何が行われたのか、何を必要があるかを理解している方が、プロジェクトを実行効率ははるかに向上するのです」

トーマス・オコネル
インディアナ大学医学部
頭頸部外科
耳鼻咽喉科准教授

結果



プロジェクト効率が大幅に向上
5~10のプロジェクトをひとつの
ダッシュボードで容易に管理



リソース管理の改善
中央研究所の研究成果を最大化



容易になったチームのコラボレーション
新しい研究のためのブレインストーミング
の改善と計画の改善



強化された研究と執筆
論文執筆のストレスを軽減し、結果の
要約が明確化

インディアナ大学医学部について

- 公立教育・研究医科大学
- インディアナ州インディアナポリスにある主要な研究・医療センター
- 設立1903年
- 2,000人以上のフルタイムスタッフ
- 2000人以上の学生

トーマス・オコネル博士について

- インディアナ大学医学部 頭頸部外科 耳鼻咽喉科 准教授
- インディアナ大学 オコネル研究室長
- IUサイモン癌センター準会員
- 悪液質研究イノベーション・治療センター会員
- 癌に関連した悪液質やその他の消費条件に代謝分析を統合し適用することに焦点をあてた研究を行っています。

MindManager

MindManagerの導入により、個人、チーム、企業で、情報の入手、整理、共有がシンプルになるため、大きな仕事もいままですら速くこなせます。

チームの会議、協同作業、共有をより効率化させませんか？全機能を搭載した30日間の無料体験版の入手はこちらから：

www.mindmanager.com/jp/myfreetrial

課題

インディアナ大学医学部オコネル研究所の准教授主任研究者として、トーマス・オコネル博士は最先端の癌とメタボロミクス研究の最前線にいます。最近の焦点のひとつは、癌と化学療法が患者の筋肉の無駄を引き起こす方法を分析し、これを治療する方法を特定することに目を向けています。

オコネル博士の日常業務には、多数のコラボレーションの管理が含まれます。各プロジェクトには、消耗品の発注、さまざまな実験の実施、完成したサンプルと未処理のサンプルの追跡、データの分析、調査結果の要約が必要になる場合があります。オコネルは、これらのアクティブなプロジェクトのうち5~10件を管理し、非効率な組織のために貴重な研究時間が無駄にならないようにする必要があります。

さらに、オコネル博士は定期的に彼の実験と発見に関連する研究論文を作成し、投稿をする必要があります。これには、複数の実験から大量のデータを収集し、結果を分析して結論を導き出し、チームの調査結果を論文にまとめ、レビューのために会議や雑誌に提出します。

解決策

オコネルは、10年以上にわたり、プロジェクトとタスク管理のため、そして執筆の補助としてMindManagerを毎日使用してきました。

研究所のコラボレーションを管理するために、オコネル博士はMindManagerを使用して、毎週のタスクの中心的な「マスター」ダッシュボードを作成します。このダッシュボードは、調整する各プロジェクトの個々のプロジェクトマップに接続します。新しいプロジェクトを開始する際、オコネルと彼のチームはマップを使用して仕事の全範囲を構築します。プロジェクトは主要セクションに分割され、サブトピックには詳細なタスク情報、リンクされたリソース、スタッフの割り当てが含まれます。タスクが完了すると、MindManagerのタスクステータス機能を使用してチェックオフされ、新しい情報と結果がコアプロジェクトマップに保存されます。これらのプロジェクトマップを彼のコアMindManagerダッシュボードにリンクすることで、オコネル博士は各プロジェクトの立ち位置について絶えず考察しています。

「コンピュータ上のファイルを掘り下げることなく、必要なものすべてを表示できるひとつの制御パネルを持っているようなものです」とオコネル氏はいいます。「何が行われたか、何を行う必要があるかが判っていると、プロジェクトの実行がはるかに効率的になります。」

オコネル博士はまた、研究論文や助成金申請の骨子を計画し、作成するための選択のためのツールとしてMindManagerを使用しています。さまざまな実験の調査結果とデータをマップにリンクして添付する機能で、オコネル博士は結果間のつながりを描くことができ、

研究所の結果の意味を明確に把握できます。これは複雑な研究論文を計画し書く際に重要と、オコネル博士は言います。

論文の包括的なテーマである中心的なテーマから始めて、オコネル博士はサブトピック、メモ、データリンク、および添付ファイルをマップに追加して、論文の構造と内容を構築します。「MindManagerを使用すると、アイデアを広げ、動かし、セクションに分割することができます」とオコネル博士は言います。すべて書き込まれる頃には詳細な骨子になり、論文執筆がずいぶん楽になりました。

「何が行われたか、何を行う必要があるかが判れば、プロジェクトを実行するのがはるかに効率的になります。従来の To Do リストよりも効率的かつ動的に見えることができれば、効率の大きく向上します。MindManagerは、このタイプのプロジェクト管理を可能にしてくれるのです。」

トーマス・オコネル
インディアナ大学医学部
頭頸部外科
耳鼻咽喉科准教授

結果

癌の代謝の分野の専門家であるオコネルの継続的な目標としては、効率的な方法で彼の実験を完了すること、生産性に貢献してくれること、そして将来のプロジェクト資金と助成金のために定期的に論文を書くことがあります。

「MindManagerは間違いなく私が目標を達成し、高いレベルの生産性を維持するのに役立ちました」とオコネル博士は言います。「MindManagerを持っていなかったら、ひとつのダッシュボードに情報を集めるのではなく、複数のソースから情報を収集することに多くの時間を費やしていたことでしょう」

プロジェクトの視覚化と計画、その進行度の追跡、結果やデータへの容易なアクセスが可能のため、ラボ実験を完了できる速度が大幅に向上します。また、彼のチームは共同でブレインストーミングを行い、新しいアイデアにつながる結果間のつながりを引き出すことができます。すべてのプロジェクトと実験で高いレベルの効率を維持することは、オコネルと彼のチームが将来命を救う可能性のある医療ブレイクスルーを発見するという目標を追求し続けるのに役立つでしょう。

その他の MindManager のお客様の導入事例：www.mindmanager.com/customer

© 2020 Corel Corporation. All rights reserved. MindManager, MindManager ロゴ、および Mindjet は、カナダ、米国、およびその他の国における Corel Corporation および/またはその子会社の商標または登録商標です。本文書に記載されているその他すべての商標は、それぞれの所有者の知的財産です。www.mindmanager.com

